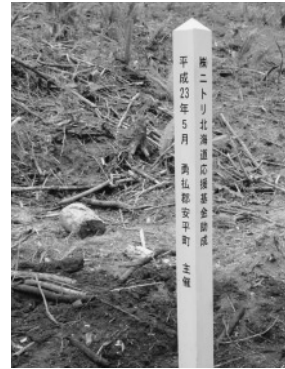


7月のどきどき

地域のチカラを！

7月1日 追分庁舎に苦小牧地区保護司会の皆さんらが法務大臣のメッセージの伝達に訪れました。

第61回目を迎えるこの運動は、戦後の荒廃した社会の中で少年非行の問題に心を痛めた住民有志らが始めた「銀座フェアー」が原点となっていています。最近の犯罪情勢は、刑法犯の認知件数は減少していますが高齢犯罪者数の著しい増加など新たな課題も増えています。犯罪や非行のない安全で安心な地域社会の実現を願う「地域の活動です」。



「北海道を元気に」と想いをこめて

株式会社二トリは社会貢献活動の一つに環境・教育・観光・福祉分野の活動助成として「北海道応援基金助成事業」を設けています。

本年度第7回目を数えるこの事業より安平町の森林環境保全活動事業が助成を受け、4月から5月にかけて町有林（厚真町字本郷）にミズナラとヤチダモの苗木3万本を植樹しました。

野生生物と共存できる森づくりを目的とした、この取組みが、豊かな自然を次世代へ引継がれるものと考え、町では今後も植樹活動を行ってまいります。

追分中学校体育祭

7月9日現在新校舎建設のため追分小学校のグラウンドで開催されました。

会場は「運動会の楽しい思い出の場」ですが、成長した生徒の皆さんが行う「体育祭」は陸上競技種目を中心に100mから1500m・リレーや長縄跳びなどのグループ対抗戦で、この日に向けた練習の成果を出していました。

生徒会のテーマ「一心D.O.体」のとおり、準備から当日の運営まで生徒が創り上げ例年と違う体育祭は「思い出になる特別な行事」になったと思います。



継承される伝統

アイヌ民族伝統儀式カムイノミ・イチャルパ祭が7月10日ふれあい交流センターみなくろで開催されました。民族に伝わる刺繍が施された衣装をまとい、チュプカムイ（太陽の神）のほか13の神々に祈りを捧げます。

交流会では伝統料理の試食むかわ町や白老町などから参加された皆さんによって古式舞踊が披露されました。



地域の人から学ぶこと

7月14日遠浅小学校で地域のおじいさん・おばあさんとの交流会が実施されました。

9名の参加者が自己紹介から始まり、代表の方から自分の頃の地域や学校の様子のお話いただいたあと、児童たちと一緒に紙ヒコキを作ったり、給食を食べながら交流を行うなど、いろいろなことを児童たちは学べた一日となりました。

